

# 選択的介護モデル事業の取り組みについて

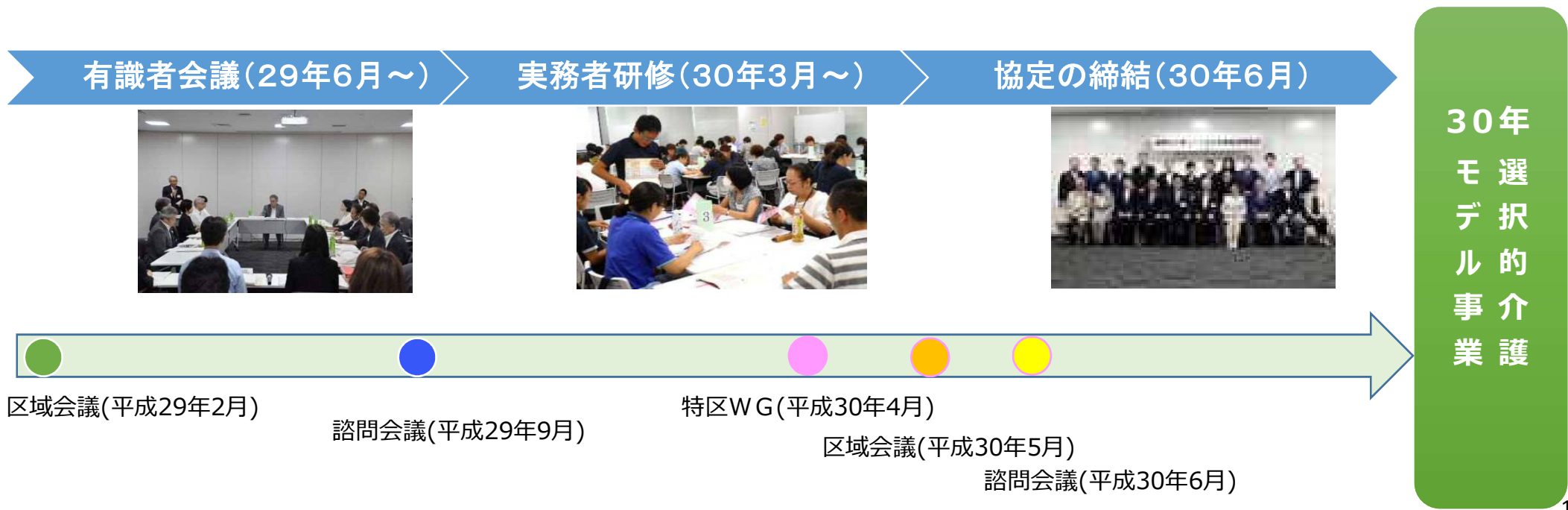
---

平成31年3月20日

介護保険特命担当課長

# 選択的介護モデル事業開始までの経緯

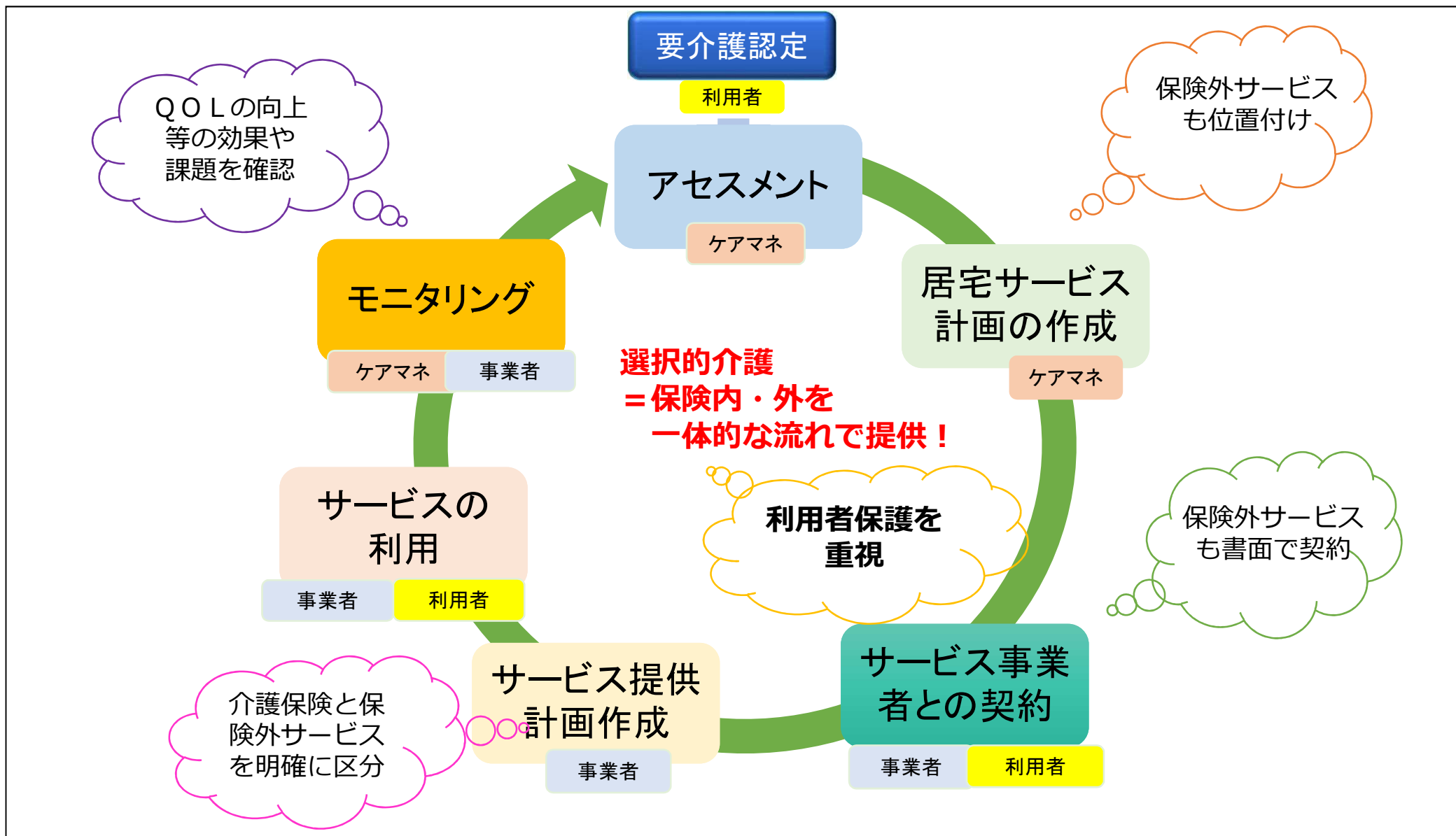
平成29年2月	区域会議で、選択的介護モデル事業の検討を提案
平成29年6月	「選択的介護モデル事業に関する有識者会議を開催
平成29年9月	諮問会議で国に対し、法令上の解釈の明確化を要望
平成29年12月	利用者保護の観点から「明確な区分」を担保するための方策を整理
平成30年4月	特区制度の活用により、現行規定の取扱いを明確化
平成30年8月	選択的介護モデル事業開始



# 平成30年選択的介護モデル事業の概要



# 選択的介護サービス利用の流れ



# 見守りサービス



おはなしカメラの説明の様子



みまもりナビの説明の様子



# 選択的介護利用実績①

1月末時点での選択的介護の利用実績は16件

NO	基本属性					選択的介護サービス				
	年齢	性別	独居/同居	負担割合	要介護度	区分	サービス内容	利用時間 (時間/月)	利用頻度	利用金額 (円/月額)
1	90代	女性	独居	1割	要介護2	居宅内	・ペットの世話	2	1回15分/週2回	5,400
2	80代	女性	独居	1割	要介護1	居宅内	・保険外の掃除	2	1回30分/週1回	5,400
3	70代	女性	独居	1割	要介護5	居宅内	・電子機器の操作確認	4	隔週1回 (1.5時間、2.5時間)	13,392
4	80代	男性	独居	2割	要介護2	居宅内	・書類の分別	2	1回15分/週2回	6,696
5	80代	女性	独居	1割	要介護3	居宅内	・保険外の掃除 ・書類の分別	1	1回15分/週1回	2,000
6	80代	女性	独居	3割	要介護3	居宅内	・保険外の掃除 ・書類整理・話し相手	29	1回1時間/毎日	87,000
7	90代	女性	独居	1割	要介護1	居宅内	・保険外の掃除	1	1回15分/週1回	3,240
8	80代	女性	独居	1割	要介護1	居宅内	・話し相手	1	1回15分/週1回	3,200
9	90代	男性	同居	2割	要介護5	居宅内	・保険外の掃除 ・見守り	3.5	1回30分または15分 /週3日	9,450

## 選択的介護利用実績②

NO	基本属性					選択的介護サービス				
	年齢	性別	独居／同居	負担割合	要介護度	区分	サービス内容	利用時間 (時間/月)	利用頻度	利用金額 (円/月額)
10	80代	女性	独居	1割	要介護2	居宅外	・院内介助 ・趣味の場への同行	3	1回1.5時間/月2回 (院内介助の時間延長)	10,044
11	80代	女性	独居	1割	要介護1	居宅外	・散歩等	1	1回30分/隔週1回	2,700
12	60代	男性	独居	1割	要介護5	見守り	・カメラ(2台)の見守り	-	1日2回 (5時半,23時)	5,500
13	90代	男性	同居	2割	要介護3	見守り	・センサーの見守り	-	1日2回 (9時,18時)	4,980
14	80代	男性	独居	1割	要介護3	見守り	・センサーの見守り	-	1日2回 (9時,18時)	4,980
15	90代	男性	独居	2割	要介護5	見守り	・カメラ(1台)の見守り	-	1日2回 (5時半,23時半)	4,980
16	90代	女性	独居	1割	要介護3	見守り	・センサーの見守り	-	1日2回 (9時,18時)	4,980

# 選択的介護サービス利用実績例

## 居宅内のサービス(No.1)

【利用者】 90代 女性（要介護2 独居 戸建て住宅 自己負担1割）  
【サービス内容】 ペットの世話 【利用頻度】 1回15分/週2回（2時間パック）

### ◇ニーズ

A D Lの低下に伴い、家族のように大切にしているペットとの生活を継続できなくなった。

### ◆導入による効果

ケアマネジャーやヘルパーなど関係者全員がペットに関わることで、利用者の精神的安定が図られるようになった。

## 居宅外のサービス(No.11)

【利用者】 80代 女性（要介護1 独居 戸建て住宅 自己負担1割）  
【サービス内容】 散歩等 【利用頻度】 1回30分/隔週1回（1時間パック）

### ◇ニーズ

日によって体調に差があり、定期的な機能訓練を入れることは難しい。馴染みのヘルパーとでなければ外出に抵抗がある。

### ◆導入による効果

体調に合わせて、近くの和菓子屋や公園にヘルパーと出かけている。本人が好きだった庭いじりにも意欲を示し始めている。

## 見守りサービス(No.12)

【利用者】 60代 男性（要介護5 独居 一般のマンション・アパート 自己負担1割）  
【サービス内容】 カメラによる見守り 【利用頻度】 1日2回のカメラ訪問

### ◇ニーズ

退院直後で歩行に不安があり、独居のため、夜間に頻回の見守りを希望。ヘルパーの代わりに見守りカメラでの訪問を提案。

### ◆導入による効果

複数の見守り者が、どこにいてもスマホで利用者の様子を確認できるため、利用者も安心して生活できている。



# 「高齢者にやさしいまち」をめざして ～いつまでも自分らしく暮らせるまち～

平成26年5月8日  
日本創成会議による発表  
「消滅可能性都市」

ピンチをチャンスに！  
人口減少社会への  
豊島区の挑戦

地域包括ケアシステムの実現

女性にやさしい  
まちづくり

高齢化への  
対応

地方との共生

日本の推進力

30年選択的介護モデル

訪問介護  
+  
保険外

居宅内

居宅外

見守り

31年選択的介護モデル候補

通所介護  
+  
保険外

デイサービスの車両等を活用した外出支援

デイサービスの場でのお薬相談等のサービス

AI等を活用したリハビリメニュー等の提供